

MDSの健全性と設定のチェックの実行

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[健全性と設定の確認手順](#)

[健全性と設定チェックモジュール](#)

[レポートと警告](#)

[FAQ](#)

[Nexusの健全性と設定のチェックの実行](#)

[フィードバック](#)

はじめに

このドキュメントでは、MDS 9000プラットフォームの自動ヘルスチェックおよび設定チェックを実行するための手順と要件について説明します。

前提条件

要件

Automated Health and Configuration Checkは、サポートされているバージョンのNX-OS®ソフトウェアを実行するMDSプラットフォームでのみサポートされます。

次のハードウェアプラットフォームがサポートされています。

- サポート終了日(LD)に達していないすべてのMDS 9000シリーズスイッチ：HWMDSのサポート終了および販売終了の通知については、次を参照してください。

[サポート終了および販売終了のお知らせ](#)

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

表記法

表記法の詳細については、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

健全性と設定の確認手順

MDSスイッチの健全性と設定の自動チェックを実行するには、Cisco [Support Case Manager](#)で次のキーワードのセットを指定して通常のTACサービスリクエストをオープンします。

テクノロジー：データセンターおよびストレージネットワーキング

サブテクノロジー：MDS9000 – 健全性と構成のチェック（自動）

問題コード：健全性と設定のチェック

開いているTAC SRについて、スイッチからキャプチャした「show tech-support details」コマンドの出力を、.txtまたは.gz/.tarのいずれかの形式でアップロードします。現在、show tech-support details、ASCIIおよびUTF-8テキスト形式でキャプチャされたファイルがサポートされています。アップロードの手順については、『[TACカスタマーファイルアップロード](#)』を参照してください。

NX-OS 8.4(2d)および9.2(1)以降では、MDS_{tac-pac}コマンドが拡張され、ブートフラッシュにファイルをすばやく作成できるようになりました。このファイルには、show tech-supportの詳細情報と追加のshow logging onboardが含まれています。これは、自動ヘルスチェックケースや設定チェックケースなど、show tech-supportの詳細を必要とするTACサービスリクエスト(SR)の入力ファイルを作成する推奨方法です。

必要な出力がSRに添付されると、シスコオートメーションはログを分析し、レポート（PDF形式）を電子メールに添付して送信します。このレポートには、検出された問題、問題のトラブルシューティングに必要な手順、および推奨されるアクションプランのリストが含まれます。

報告されたヘルスチェックの失敗に関して疑問がある場合は、適切なキーワードを指定して別のサービスリクエストを開き、サポートを受けることをお勧めします。調査を迅速化するために生成されたレポートとともに、自動健全性および設定チェックのためにオープンされたサービスリクエスト(SR)番号を参照することを強くお勧めします。

ヘルスと設定のチェックモジュール

Automated MDS Health and Configuration Check Version 1、2023年5月版リリースでは、表1に示すチェックを実行します。

表1：ヘルスチェックモジュールおよびモジュールで使用される関連CLI

インデックス	ヘルスチェックモジュール	モジュールの簡単な説明	ヘルスチェックの実行に使用されるCLI

クス			
1.	NX-OSリリースの確認	デバイスがCisco推奨のNX-OSソフトウェアリリースを実行しているかどうかを確認します。	show version
2.	MDSトランシーバによるEOL/EOSの確認	トランシーバがサポート終了(EOL)または販売終了(EOS)かどうかを確認します。	show version show clock show hardware
を選択します。	MDSスイッチのFCインターフェイスのデータレート使用量	インターフェイスの入出力レートをチェックします。使用率が80%を超えるインターフェイスの上位10個のインターフェイスとアラートを表示します。	show version show interface brief (登録ユーザ専用)
4.	MDSスイッチのトランシーバ詳細情報	インターフェイスの温度、電圧、電流、送信電力、または受信電力の公称値をチェックします。障害が検出された場合は、次の手順を提案します。	show version show hardware show interface transceiver details (ハードウェアの表示とインターフェイストランシーバの詳細)
5.	実行中のNX-OSバージョンに基づくPSIRT不具合の確認	ハードウェア/ソフトウェアと設定に従って、さまざまなPSIRTと照合します。これは完全なものではありません。	show version show running-config
6.	MDSによるクロック情報のチェック	推奨クロック設定を確認し、推奨クロック設定のサンプルを提供します。	show running-config show clock
7.	EOL/EOSに関するMDSハードウェアチェック	MDSモジュールおよびシャーシのサポート終了日(EOL)とサポート終了日(EOS)を特定します。	show version show module show hardware show inventory
8.	MDSソフトウェアチェックによるEOL/EOS	MDS NX-OSリリースのサポート終了日(EOL)とサポート終了日(EOS)を特定します。	show version show module (隠しコマンド)

9.	MDS FCNSデータベースとFLOGIデータベースの整合性チェック	show FCNS databaseとshow FLOGI databaseの出力間の一貫性を確認します。	show version show hardware flogi database show fcns database local vsan 1-4093
10.	すべてのTFポートでアップ状態でアクティブなすべてのVSANをMDSで確認	すべてのTFポートで、許可されているすべてのVSANがactive状態であり、isolated状態またはinitializing状態のVSANがないことを確認します。	show version show hardware show interface show interface brief show port-channel database
11.	すべてのTEポートでアップ状態でアクティブになっているすべてのVSANをMDSでチェック	すべてのTEポートで、許可されているすべてのVSANがactive状態であり、isolated状態またはinitializing状態のVSANがないことを確認します。	show version show module show interface show interface brief show port-channel database
12 が表示 されま す。	MDS OUIによるリモートデバイスの確認	トランクおよびポートチャネル接続を介して接続されたOUIをMDSが認識していることを確認します。	show flogi internal event-history errors show port internal event-history errors show system internal fc fwd idxmap interface show flogi internal event-history デバッグ show accounting log
13.	MDS CFSロックチェック	CFSロックを確認し、ロックを解除するための推奨手順を確認します。	show version show module show hardware show cfs lock show logging log show cfs internal session-history show cfs peers show fcdomain domain-list show cfs internal event-history errors show clock
14.	MDSアクティブスーパーバイザmgmt0リンクのチェック	アクティブまたはスーパーバイザmgmt0のみのリンクステータスが「up」と表示されているかどうかを確認します。	show version show interface mgmt0
15.	MDS 9700スタンバイ側のスーパーバイザmgmt0リンクの確認	スタンバイ側のスーパーバイザmgmt0のリンクステータスが「up」になっているかどうかを確認	show version show interface mgmt0 standby

		<p>します。NX-OS 9.2(1)以降のバージョンを実行しているMDS 9700ディレクタでのみ有効です。</p>	
16.	<p>MDSでの最適ではない PCメンバの割り当てチェック</p>	<p>ポートチャネルは、マルチスイッチのファイバチャネルSANの復元力にとって重要です。ポートチャネルを設定して耐障害性とハードウェアリソースの使用率を最大化すると、SANの復元力が向上します。このモジュールは、検出された各ファイバ・チャネル・ポート・チャネルをチェックして、そのメンバー・インタフェースが、スイッチ内で使用可能なモジュールとfwd-engineの間でできるだけ均等に分散されていることを確認します。</p>	<p>show version show interface briefコマンド</p>

レポートと警告

- Health and Config Check SRは、仮想TACエンジニアによって自動化および処理されます。
- レポート (PDF形式) は、通常、SRに添付されているすべての必要なログの後、24営業時間以内に生成されます。
- レポートは、サービスリクエストに関連付けられたすべての連絡先 (プライマリおよびセカンダリ) と電子メール(Cisco TAC Automated Emails <no-reply@cisco.com>から送信)で自動的に共有されます。
- レポートはサービスリクエストにも添付され、後で利用可能になります。
- このレポートに示されている問題は、提供されたログに基づき、表1 (前述) に示したヘルスチェックモジュールの範囲内で発生します。
- 実行されるヘルスチェックと設定チェックのリストは完全なものではなく、ユーザは必要に応じてさらにヘルスチェックを実行することをお勧めします。
- 新しいヘルスチェックと設定チェックは、時間の経過とともに追加できます。

FAQ

Q1：すべてのスイッチのヘルスチェックレポートを取得するために、同じSR内の複数のスイッチに関するshow tech-supportの詳細をアップロードできますか。

A1：これは自動化されたケース処理であり、ヘルスチェックは仮想TACエンジニアによって実行されます。ヘルスチェックは、最初にshow tech-support detailsアップロードされたデバイスに対してのみ実行されます。

Q2：数時間の間隔でキャプチャした同じデバイスに対して、複数のshow tech-supportの詳細をア

アップロードして、両方のヘルスチェックを行うことはできますか。

A2：これは、Virtual TAC Engineerによって実行される自動化されたステートレスなケース処理であり、アップロードされたファイルが同じスイッチからのものか別のスイッチからのものかに関係なく show tech-support details、SRにアップロードされた最初のファイルの健全性と設定のチェックが行われます。

Q3：単一のrar/gzファイルとして圧縮され、SRにアップロードされたshow tech-support detailsファイルを持つスイッチのヘルスチェックを行うことはできますか。

A3：いいえ。複数のshow tech supportの詳細が単一のrar/zip/gzファイルとしてアップロードされている場合、アーカイブ内の最初のファイルのみがヘルスチェックのために処理されます。

Q4：報告されたヘルスチェックの失敗に関する質問がある場合、どうすればよいですか。

A4：個別のTACサービスリクエストをオープンして、特定のヘルスチェック結果に関するサポートを受けてください。ヘルスチェックレポートを添付し、自動ヘルスチェックおよび設定チェック用にオープンされたサービスリクエスト(SR)ケース番号を参照することを強くお勧めします。

Q5：検出された問題をトラブルシューティングするために、Automated Health and Config Check用にオープンされたSRと同じSRを使用できますか。

A5：いいえ。予防的なヘルスチェックが自動化されているため、新しいサービスリクエストをオープンして、報告された問題をトラブルシューティングし、解決してください。ヘルスチェックのためにオープンされたSRは、ヘルスレポートが公開されてから24時間以内にクローズされます。

Q6：前述のバージョンよりも古いバージョンが稼働するスイッチのshow tech-support detailsファイルに対して、自動のヘルスチェックと設定チェックが実行されますか。

A6：健全性と設定の自動チェックは、前述のプラットフォームとソフトウェアリリース用に構築されています。古いバージョンを実行するデバイスの場合はベストエフォートであり、レポートの精度は保証されません。

Q7：ヘルスチェック用にオープンされたSRを閉じるにはどうすればよいですか。

A7：最初のヘルスチェックレポートが送信されてから24時間以内にSRがクローズされます。SRのクローズに対するユーザからのアクションは不要です。

Q8：予防的な健全性と設定のチェックに関するコメントやフィードバックを共有するにはどうすればよいですか。

A8：MDS-HealthCheck-Feedback@cisco.comに電子メールで共有してください。

Q9.スイッチから「show tech-support」または「show tech-support details」をキャプチャする推奨方法はどれか？

A9：このドキュメントで前述したように、NX-OS 8.4(2d)および9.2(1)以降では、MDS_{tac-pac}コマンドが拡張され、追加のshow tech-support details (OSのバージョンに応じて)を含むファイルがブートフ

ラッシュに迅速に作成され、`show logging onboard` します。これは、自動化された健全性チェックと設定チェックを `show tech-support details` 含む必要があるすべてのTACサービスリクエスト(SR)の入力ファイルを作成する推奨方法です。ターミナルアプリケーション (SecureCRT、PuTTYなど) のログファイルにキャプチャされたCLI出力は、UTF-8-BOM形式 (または類似した形式) である可能性があります。これは、自動ヘルスチェックではサポートされていません。Automated Health & Configチェックは、ASCII形式またはUTF-8形式のファイルのみをサポートします。

Nexusの健全性と設定のチェックの実行

『[Nexusの健全性と設定のチェックの実行](#)』を参照してください。

フィードバック

これらのツールの動作に関するフィードバックは非常に高く評価されています。観察や提案 (たとえば、使いやすさ、範囲、生成されるレポートの品質など) がある場合は、MDS-HealthCheck-Feedback@cisco.com で共有します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。